

(5) コンクリート二次製品

ヒューム管

記事提供：全国ヒューム管協会北陸支部

新潟・富山、2県の出荷状況

令和4年度1月～3月期の出荷量は、新潟県は前年比500t減で500t、富山県は前年比200t増の700t、2県の出荷量合計は1,200tで前年同期比20%減となった。

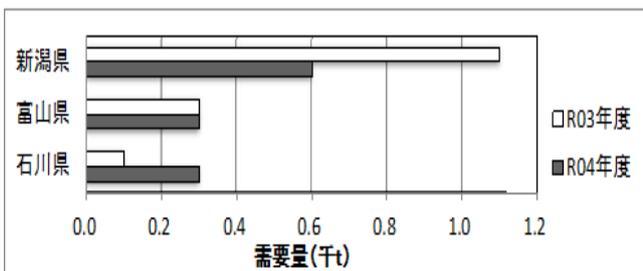
また、令和4年度累計では、新潟県は前年比増減無しの4,000t、富山県も前年比増減無しで3,300t、2県の累計出荷量合計は、7,300tで前年比増減無しとなった。

新潟・富山・石川、3県の需要動向

令和4年度1月～3月期の3県需要の合計は、1,200tで前年同期比20%減(300t減)となっている。県別では、新潟県が45%減(500t減)、富山県が増減無し(±0t)、石川県が200%増(200t増)であった。

尚、令和4年度累計需要合計は、新潟県が4%増(200t増)、富山県が21%減(400t減)、石川県が50%増(300t増)となり、北陸3県全体で7,400t(100t増)、前年同期比の101%となった。

ヒューム管需要量の推移(1月～3月期)

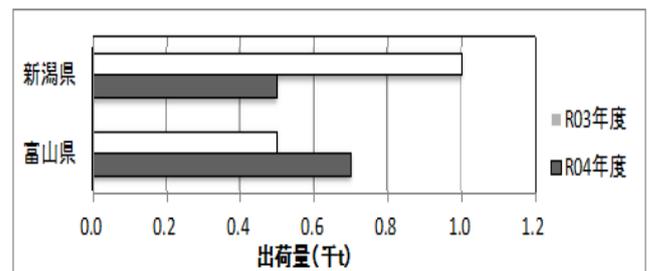


(上段：前年同期比%、下段：千t)

県	令和3年度 年計	令和4年度				
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	▲4	18	44	0	▲45	4
	4.8	20	1.3	1.1	0.6	5.0
富山県	27	50	▲17	▲50	0	▲21
	1.9	0.3	0.5	0.4	0.3	1.5
石川県	0	▲50	200	0	200	50
	0.6	0.1	0.3	0.2	0.3	0.9
3県計	3	14	31	▲19	▲20	1
	7.3	2.4	2.1	1.7	1.2	7.4

(注)・上段は前年同期との比較
・集計は、会員5社のうち5社

ヒューム管出荷量の推移(1月～3月期)



(上段：前年同期比%、下段：千t)

県	令和3年度 年計	令和4年度				
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	5	31	38	▲22	▲50	0
	4.0	1.7	1.1	0.7	0.5	4
富山県	3	▲13	13	▲17	40	0
	3.3	0.7	0.9	1.0	0.7	3.3
2県計	4	14	25	▲19	▲20	0
	7.3	2.4	2.0	1.7	1.2	7.3

(注)・上段は前年同期との比較
・集計は、会員5社のうち5社
・石川県には、工場無し
・新潟県・富山県の在籍工場分を集計(3県以外への出荷を含まず)